

心豊かに 元気よく 主体的に学ぶ子の育成  
～元気なあいさつ 笑顔いっぱい みんなかがやく 志染っ子～

## 目標をもつ力が子どもを伸ばす

もうすぐ七夕ですね。七夕に関して調べてみました。その資料によりますと、七夕は、旧暦の7月7日に行われていました。国立天文台では二十四節気の処暑以前で、処暑に最も近い新月から数えて7日目を「伝統的七夕の日」としています。七夕伝説では、織姫が月の舟（半月）に乗って天の川を渡ります。月は、数日かけて織姫星から彦星の方へ位置を変えていくため、織姫が月の舟に乗って彦星に会いに行く話になったのでしょう。月をささ舟に見立てると、半月の舟に乗った織姫は、年に一度彦星に会いに行くこととなります。

さて、私たちは七夕飾りに願い事を書きますが、目標を書く場面は学校生活の中にも多くあります。例えば、お正月、始業式後の教室、行事の前などです。願いをかなえるために目標を書くと、成功する可能性が高いのです。

こんな話を聞いたことがあります。『メンタル・マネージメント 勝つことの秘訣』（ラニー・バッシュム、藤井優）という本には、オリンピックで金メダルをとるための秘訣が書かれているそうです。オリンピックで金メダルをとるには実力も大切ですが、心のもち方が大切になります。勝者の心のもち方を簡単にいうと、①目標をはっきり決め、②それを紙に書き、③すぐに行動を始める、とのことです。

七夕の短冊は、このうちの①と②を具体化したものです。このように考えてみると、七夕に願いを短冊に書くというのは、何か意味のあることに思えてきます。

ところで、本校では、「計画→実行（テスト）→分析→再実行（練習）」のシステムを学習活動に取り入れています。具体的には、毎月の生活目標を達成するために、子どもたち各自が頑張ることを計画し、これを実際にやってみて、そして、その状態を自分自身で分析した後、もう一度やってみるという活動です。これも①目標をはっきり決め、②紙に書くので、非常に有効だと考えます。実は、この方法は私たち大人もよくやっていますね。テスト勉強の時や仕事でのPDCAサイクルなどです。この方法で取り組むと目標が明確になり、より主体的になります。

子どもの時から、主体的に取り組み、振り返って次に活かす経験を多く経験させたいものですね。

